



モスクワ日本人学校

# しらかば

第3号

モスクワ日本人学校  
一人一人が輝く学校  
笑顔あふれる学校

児童生徒数 93名

(E-mail)

[school@mosnichi.com](mailto:school@mosnichi.com)

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

## いつも側にある応援歌

校長 石川 賢

A子さんは、家族とともに数年間外国で暮らし、初めて日本の小学校に通うことになりました。そして、新しい友だちの前でそれまで学んでいた日本人学校の校歌を歌いました。聞けば、歌詞もメロディも大好きで、いつも友だちと一緒に歌っていたとのこと。A子さんにとって、校歌はいつも側にある応援歌だったのです。

ふと、母校の小学校の校歌を思い起こし、試しにを歌ってみました。

♪ はるかに望む 飯豊山

近くに仰ぐ 越後富士

心は常に高山の

雄々しさをこそ

持つべけれ ♪

越後が生んだ文学者、相馬御風が作詞した校歌です。往時は詞の意味なども考えもせずに歌っていたのに、しかも数十年も歌っていないのに、歌うことができるから不思議です。

歌いながら、校舎、校庭、窓からの景色、友人の顔が走馬灯のように頭の中を駆け巡りました。数十年の時を超えて一気に童心に返り、活力が湧いてくるようでした。

長じて口にする母校の校歌からは、多くの思いが重なる分、大きな安らぎと力が与えられるように思います。

愛着ある我がモス日の校歌。この校歌を歌う度に、ロシアの豊かな自然、子どもたちの夢、子どもたちへの期待や慈しみの心にふれることができます。自然と、穏やかな心地よさに包まれて和み、同時に気持ちの前に向きます。「よしっー」

これが母校の校歌の魅力です。コロナ禍で不自由が強いられる中でも、子どもたちには、A子さんのように大切に歌い継いでほしいと願います。そして、「校歌」のように、子どもたちを応援し続けたいと思うのです。